

シリーズ 土地改良のあしあと

嘉例川土地改良区 (桑名市)



水源地ポンプ場

本地区は桑名市の西部に位置し、北側は多度町、西側は東員町に隣接しており、大山田団地、西名古屋変電所、RDF発電所、ゴルフ場等に囲まれています。

整備地域の中央には、嘉例川(2級河川)と県道四日市・多度線で2分され、奥行きがない農地の連なりとなっています。

平成12年に土地改良区を設立し、地区面積20.4ha、組合員80人、理事7名、監事2名で運営しています。

用水については、嘉例川の支線で上流の山林からの湧水を貯水してパイプラインで水田全域に送水しており、作業効率の一因となっています。

事業開始当初に環境調査を行った結果、市指定天然記念物のヒメタイコウチ、希少種のホトケドジョウの生息が確認され、石積水路工やビオトープ等生態系に配慮した工法により整備されました。土地改良区が中心となって保存活動を開始し、「桑名市子ども文化祭」でパネル展示、「かれがわ田んぼの生きもの観察会」、津田学園小学生の「田んぼの学校と川辺の水質調査」、七和小学校の「虹色フェスター」でパネル展示、ソバ作り教室等学校と連携して活動を行っています。

又、2010年にはCOP10パートナーシップ事業が社団法人



かれがわ田んぼの生きもの観察会の様子

人桑名青年会議所主催で「かれがわ生きもの調査」を実施され、当日採取した昆虫類を標本し、桑名市教育委員会に寄贈いただき、地元では貴重な宝物として次世代を担う子供達に生息する生態系を未来に語り継いでいきます。

地元営農については現在まで任意の組織でしたが、平成22年農事組合法人「かれがわ営農組合」が設立され、大型農機の導入と地域住民の出合方式で作業を実施しています。



桑名市子ども文化祭の様子



ソバ作り教室の様子